

岩手北野球クラブ

発足 1 年で着実な成果

岩手北野球クラブは葛巻町と岩手町を中心に中学軟式野球のクラブチームとして令和 6 年 3 月に発足。



△東日本大会で撮影した岩手北野球クラブの集合写真（関係者提供）<11月12日に鈴木重男町長を訪問した際の記念写真

岩手北野球クラブが10月26日と27日、滝沢市で開催された第17回岩手県中学生K B 野球大会で準優勝を収め、11月16日と17日に千葉県で行われた第40回秋季東日本中学生軟式野球大会への出場を果たしました。大会には26チームが出場し、シードだった岩手北野球クラブは1勝を挙げ、ベスト8に輝きました。

大会を振り返りキャプテンの木戸場蘭来さん（江刈中2年）は「1点を争う試合の中で1勝できたのは、自分たちの力が通用するという自信になった。一人一人の課題が見つかったので、冬の間に克服できるよう努力し、来年のプレーにつなげたい」と力強く答えてくれました。

岩崎洋介監督（葛巻中教諭）は「クラブチームになったおかげで、安定的に練習や試合をすることができ、さまざまな大会にも出られるようになった。生徒たちも勝ちたいという意識が強くなっている」とクラブチームとしての活動に確かな手応えを感じていました。



木戸場 蘭来 さん
(江刈中2年)

加賀谷 灯真 さん
(江刈中2年)

向川原 楽 さん
(葛巻中2年)

上家 崇雅 さん
(葛巻中2年)

近藤 琉心 さん
(葛巻中1年)



『フェイクドキュメンタリーQ
～この人、行方不明～』
フェイクドキュメンタリーQ 著

YouTubeチャンネル登録者数28万人超。ホラー好きの間で「今一番起きている」とされるモック・ドキュメンタリーホラー。なお、本作品を読む場合、いかなる責任も負いません。自己責任でお読みください。



『おばあちゃんのあかね色』
楠 章子 作

作者の20年以上の介護体験から思う「認知症との共生」を描いた物語。病気と向き合うことは大変だが、その人がその人らしくいられるように、周囲の人にできる事は何か？を考えるきっかけを与えてくれます。



『ライオンのくのにネズミ』
さかとく み雪 作
【書店員が選ぶ絵本新人賞
2024大賞作品】

使う言葉も習慣も体の大きさも違う彼らは分かり合うことができるのか？「優しさ」と「勇気」の絵本として、「国際理解教育」の教材としても読める、幅広い層に届けたい1冊。

公民館
図書室から

本の紹介

●開館時間：午前8時30分～午後7時

ナニヤドヤう葛巻愛郷会



小屋瀬さんさ踊り保存会



葛巻みんよう伝承会



葛巻神楽保存会



第11回葛巻町郷土芸能発表会

－貴重な伝統芸能を次代に残す－

11月17日、町郷土芸能団体連絡協議会（遠藤勝広会長）主催の第11回町郷土芸能発表会がまき×まきホールで開催され、約100人が来場しました。

開会行事では主催者を代表して遠藤会長が「郷土芸能に携わる人が減少する中、町をはじめとする各関係者の協力を得ながら発表会を続けていきたい」とあいさつ。来賓の鈴木重男町長は祝辞の中で「これまで受け継がれてきた伝統文化を次代に繋ぐことが我々の役割。町全体で協力して困難を乗り越え、その時代に合った方法で文化を継承するよう努めていく」と文化継承への決意を述べました。

出演した4団体は、地域の伝統芸能を大切に守り、これまで受け継がれてきた民謡などの唄、神楽やさんさ踊り、ナニヤドヤラなどの踊りで日頃の取り組みの成果を発表。見事な芸の披露に、来場者らは惜しみない拍手を送り、時折唄や踊りを一緒に楽しんで楽しむなど、発表を通じて伝統を受け継ぐ姿に感銘を受けた様子でした。